

新潟県内の救急業務の現況を公表します

新潟県内の令和7年4月1日時点の救急業務実施体制及び令和6年中の救急業務実施状況について、別紙のとおりお知らせします。

各消防本部及び県において救急救命士の養成を進めた結果、本県では、救急救命士を運用している救急隊数の割合が前年に引き続き100%を維持するとともに、救急隊員として運用される救急救命士の数が前年より5人、0.7%増加するなど、救急業務実施体制の整備が進んでいます。

また、前年と比較して救急出動件数は1.8%、救急搬送人員は3.0%、それぞれ増加し、救急自動車が登場に到着するまでの平均時間は0.3分短縮、傷病者が医療機関に収容されるまでの平均時間は1.0分短縮しました。

県では、質の高い適切な救急搬送及び受入れのため、引き続き救急救命士や救急隊員の養成支援を進めるとともに、消防機関と医療機関の連携推進を図ってまいります。

	新潟県			全国		
	R7.4.1	R6.4.1	増減	R7.4.1	R6.4.1	増減
救急救命士を運用している救急隊数	132隊	133隊	▲0.8%	5,472隊	5,396隊	+1.4%
全救急隊に占める割合	100%	100%	▲	99.8%	99.6%	▲
救急隊員として運用される救急救命士	754	749	+0.7%	31,753	31,014	+2.4%
全救急隊員に占める割合	45.1%	44.6%	▲	46.9%	46.3%	▲

	新潟県			全国		
	令和6年	令和5年	増減	令和6年	令和5年	増減
救急出動件数	122,176	120,057	+1.8%	7,718,380	7,638,558	+1.0%
救急搬送人員	110,492	107,240	+3.0%	6,769,172	6,641,420	+1.9%

	新潟県			全国		
	令和6年	令和5年	増減	令和6年	令和5年	増減
現場到着平均所要時間	9.3分	9.6分	▲0.3分	9.8分	10.0分	▲0.2分
医療機関等収容平均所要時間	45.1分	46.1分	▲1.0分	44.6分	45.6分	▲1.0分

※ 詳細は、県ホームページに掲載しています。

(URL : <https://www.pref.niigata.lg.jp/shobo/1356830069900.html>)

本件についてのお問い合わせ先

消防課 小林、本多

(直通) 025-282-1664 (内線) 6442

令和7年版 新潟県内の救急業務の現況（概要）

1 救急業務の実施体制（R7.4.1 現在）

(1) 救急自動車数

ア 消防本部における救急自動車の保有台数は、非常用を含め 161 台で、前年（162 台）から 1 台減少しています。

イ また、救急救命士による高度な処置に対応できる資機材を備えた高規格救急自動車は、160 台で、こちらは前年（160 台）から横ばいで推移しています。

(2) 救急隊数及び救急隊員数

ア 消防本部には 132 隊の救急隊が設置されており、うち救急救命士運用隊は 132 隊となっています。

イ 救急隊員のうち 754 人が運用救急救命士であり、前年（749 人）に比べて 5 人増加しました。救急隊員における運用救急救命士の割合は 45.1% となり、前年から 0.5 ポイント上昇しています。

※ 救急救命士とは、医師の指示の下に、重度傷病者が医療機関に搬送されるまでの間に救急救命処置を行うことを業とする者です。救急隊員の行う応急処置のほか、静脈路確保、特定器具を用いた気道確保やアドレナリン（エピネフリンともいう。）、ブドウ糖溶液の投与など、高度な処置の実施が可能です。

	新潟県			全国		
	R7.4.1	R6.4.1	増減	R7.4.1	R6.4.1	増減
救急自動車数	161台	162台	▲0.6%	6,727台	6,640台	+1.3%
うち、高規格救急自動車数	160台	160台	±0	6,651台	6,561台	+1.4%
救急隊数	132隊	133隊	▲0.8%	5,485隊	5,415隊	+1.3%
救急救命士を運用している救急隊数	132隊	133隊	▲0.8%	5,472隊	5,396隊	+1.4%
全救急隊に占める割合	100%	100%		99.8%	99.6%	
救急隊員数（ポンプ車等の兼任者を含む）	1,671人	1,679人	▲0.5%	67,688人	67,006人	+1.0%
救急隊員として運用される救急救命士数	754人	749人	+0.7%	31,753人	31,014人	+2.4%
全救急隊員に占める割合	45.1%	44.6%		46.9%	46.3%	

2 救急業務の実施状況（R6.1.1～R6.12.31）

(1) 救急自動車が出動した件数及び救急自動車で搬送した人員

ア 令和6年中に、122,176 件の救急出動があり、110,492 人が救急自動車で搬送されています。

イ また、前年に比べて、救急出動件数が 1.8%、救急搬送人員が 3.0%それぞれ増加しています。

	新潟県			全国		
	令和6年	令和5年	増減	令和6年	令和5年	増減
救急出動件数	122,176件	120,057件	+1.8%	7,718,380件	7,638,558件	+1.0%
救急搬送人員	110,492人	107,240人	+3.0%	6,769,172人	6,641,420人	+1.9%

(2) 年齢区分別搬送人員

救急自動車で搬送された人を年齢別にみると、高齢者が75,915人(68.7%)と最も多くなっており、その割合は全国平均(63.3%)に比べて5.4ポイント高くなっています。

	新潟県		全国	
	人数	割合	人数	割合
新生児(生後28日未満)	213人	(0.2%)	12,294人	(0.2%)
乳幼児(生後28日以上、満7歳未満)	3,478人	(3.1%)	275,562人	(4.1%)
少年(満7歳以上、満18歳未満)	3,287人	(3.0%)	226,932人	(3.4%)
成人(満18歳以上、満65歳未満)	27,599人	(25.0%)	1,969,431人	(29.1%)
高齢者(満65歳以上)	75,915人	(68.7%)	4,284,953人	(63.3%)

(3) 傷病程度別搬送人員

救急自動車で搬送された人のうち、傷病の程度が入院を必要としない軽症の方が40,623人(36.8%)と約4割を占めており、その割合は全国平均(46.8%)に比べて10ポイント低くなっています。

	新潟県		全国	
	人数	割合	人数	割合
死亡(初診時で死亡が確認されたもの)	2,663人	(2.4%)	86,199人	(1.3%)
重症(3週間以上の入院加療を必要とするもの)	11,145人	(10.1%)	491,471人	(7.3%)
中等症(入院を必要とするもので重症に至らないもの)	56,051人	(50.7%)	3,017,912人	(44.6%)
軽症(入院を必要としないもの)	40,623人	(36.8%)	3,171,350人	(46.8%)
その他(医師の判断がないもの及びその他の場所へ搬送したもの)	10人	(0.0%)	2,240人	(0.0%)

(4) 現場到着までの所要時間

覚知から現場到着までの平均所要時間は、9.3分となっており、前年(9.6分)に比べて0.3分短くなりました。また、その時間は全国平均(9.8分)に比べて0.5分短くなっています。

	新潟県			全国		
	令和6年	令和5年	増減	令和6年	令和5年	増減
現場到着平均所要時間	9.3分	9.6分	▲0.3分	9.8分	10.0分	▲0.2分

(5) 医療機関収容までの所要時間

覚知から医療機関への収容までの平均所要時間は、45.1分となっており、前年(46.1分)に比べて1.0分短くなりました。また、その時間は全国平均(44.6分)に比べて0.5分長くなっています。

	新潟県			全国		
	令和6年	令和5年	増減	令和6年	令和5年	増減
医療機関等収容平均所要時間	45.1分	46.1分	▲1.0分	44.6分	45.6分	▲1.0分

3 応急手当普及講習の実施状況 (R6. 1. 1~R6. 12. 31)

各消防本部でのAEDの使用方法等の講習に係る実施状況は、次のとおりとなっています。

		新潟県			全国			
		実施回数	受講人数	人数	実施回数	受講人数	人数	
救命入門コース	実施回数	1,048回	受講人数	23,794人	実施回数	22,332回	受講人数	603,669人
普通救命講習	実施回数	947回	受講人数	13,727人	実施回数	57,662回	受講人数	886,514人
上級救命講習	実施回数	24回	受講人数	339人	実施回数	4,296回	受講人数	71,222人